

様式2（計画用）

「越前市いのち支える自殺対策計画（案）」に関するパブリック・コメント結果

案件名	越前市いのち支える自殺対策計画（案）について						
実施期間	令和元年6月15日（土）～ 令和元年7月11日（木）まで						
趣旨	「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指し 「生きることの包括的支援＝自殺対策」を関係機関等が一体となって推進する。						
意見提出者数 （件数）	5人（11件）						
	20代	30代	40代	50代	60代	未記入	合計
提出者			1（1）			4（10）	5（11）
未記入							
合計							5（11）
意見に対する回答	以下のとおり						

No	年齢	該当する箇所	ご意見の要旨（抜粋）	越前市の回答
1			<p>越前市の「皆様のご意見をお寄せください パブリックコメント」のページにはパブリックコメントを提出する際に「住所、氏名、年齢、性別を明記」することが必要と記載されているが、個々の計画のページには「住所、氏名」を書くように記載されている。性別、年齢の情報が必要ないのであれば、性別は提出条件から削除し、表記を統一してほしい。</p> <p>パブリックコメントの公表する内容は、コメントの内容のみとし、その他個人情報は掲載しないでほしい。</p>	<p>市民パブリック・コメント実施要綱に「意見を提出しようとする市民等は下記の事項を明らかにしなければならない。(1)住所、(2)氏名、(3)市外に住所がある場合は市内の勤務先又は通学先」とあり、年齢・性別は必須事項ではないことから、パブリックコメントの意見用紙について、年齢と性別の記入欄は削除します。</p> <p>また、パブリックコメントの公表の様式（「様式2」（計画用））の、年齢・性別の欄を削除します。</p>

様式2 (計画用)

2		<p>第3章 2 重点施策 計画書 17 頁</p>	<p>多様な性のあり方に関する課題が、自死と深く結びついている現状を認識していただくことが重要と考えるため、重点施策の1つとして、性的マイノリティに関する柱の追加が必要である。</p>	<p>本市の地域の自殺の特徴により「高齢者」「生活困窮者」「勤務・経営」の3つを重点施策とし、地域の実情に合わせた自殺対策計画の策定を進めています。</p> <p>性的マイノリティへの支援の充実については、ゲートキーパー養成講座等で普及啓発の取組みを行うと共に、計画書の36頁の136の人権擁護推進事業にて推進していきます。</p>
3		<p>第1章 1計画策定の趣旨 (1) 計画策定の背景 計画書1頁</p>	<p>「自殺の背景には失業、経済問題、～性的マイノリティ等」とあるが、「等」に含むことなく、厚労省「自殺総合対策大綱」p4にあるように「児童虐待、性暴力被害」を追記してほしい。</p>	<p>自殺の要因となりうる事項は多種様々です。本計画策定の背景1頁では、「児童虐待、性暴力被害」を、～性的マイノリティ等に含んで記載しておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>「児童虐待、性暴力被害」の支援については、20頁(4) 生きることの促進要因への支援に追記いたします。</p>
4		<p>第4章 1基本施策 (4) 生きることの促進要因への支援 計画書20頁</p>	<p>「生きることの促進要因」の強化につながる施策を進め、本市では居場所づくりに関する対策を推進します」の部分を厚労省「自殺総合対策大綱」p22にあるように「様々な分野において、「生きることの阻害要因」を減らし、併せて「生きることの促進要因」を増やす取組みを推進する。」としてほしい。</p> <p>また、自殺総合対策大綱のp22から例示されている(1)から(20)のように具体的に取組みを例示し、この原案の、「3</p>	<p>ご提案いただきました部分は記載してありますので「本市では居場所づくりに関する対策の推進や相談窓口、相談体制の充実等、生きることの促進要因の強化につながる施策を進めます。」とします。また、具体的な取組みに「介護者支援、引きこもり支援、児童虐待等の相談支援」を追記します。</p> <p>「3 生きることへの包括的な支援の関連施策 (事業一覧)」</p>

様式2（計画用）

			<p>生きることへの包括的な支援の関連施策（事業一覧）」を分類し、具体的に示してほしい。</p>	<p>に関しましては、ご提案いただいたように、分類して例示します。</p>
5		<p>第4章 1基本施策 (5) 子ども・若者のSOSの出し方に関する教育 計画書22頁</p>	<p>厚労省「自殺総合対策大綱」p27の記載を踏まえて、性的マイノリティについて「教職員の理解を促進します」の部分を「教職員の理解を促進するとともに、学校における適切な教育相談の実施を促進します」に変更してほしい。</p> <p>正しい理解、正しい知識の普及は教職員に限らず子どもたちにも必要であるため、道徳や総合の時間に性の多様性について取り上げてほしい。</p>	<p>ご意見の通り変更いたします。</p> <p>各学校においては、人権教育全体計画を作成し、その中において、①各教科での取り組み、②教職員の研修、③児童・生徒に対する取り組み、④保護者に対する取り組みを具体的に計画し、人権教育を進めています。性的マイノリティや性の多様性に関することも、個性を認め合い自他を尊重する心情を育てるための取り組みの一つとして、学年の発達段階に応じた指導を行っています。</p>
6		<p>第4章 1基本施策 3生きることへの包括的な支援の関連施策（事業一覧） 計画書26～38頁</p>	<p>直接的な自殺対策と、広く考えて自殺対策に繋がる事業とが広く記載されているように見受けられる。</p> <p>相談関係なら相談でまとめる、生活困窮関係、高齢者、子ども、性的マイノリティなど関係する分野ごとに並び替えた方が対策について分かりやすくなる。</p> <p>また、その中に原案のp22の教育分野において性的マイノリティに関する事業がないので、明記してほしい。</p> <p>事業に含まれている場合であっても特記し、取り組みを明確化することで、教職員の認識を高める必要がある。</p>	<p>市の関係課の全事業の中から「生きる支援」に関連する事業を最大限生かすことで「生きる包括的な支援（自殺対策）」を推進する力になることから自殺対策に繋がる事業が広く記載されています。</p> <p>172事業を基本施策ごとに分類し掲載いたしました。</p> <p>性的マイノリティの事業については、性的マイノリティや性の多様性に関することも、個性を認め合い自他を尊重する心情を育てるための取り組みの一つとして、学年の発達段階</p>

様式2 (計画用)

				階に応じた指導を行っていません。また、生きることへの包括的な支援の関連施策事業一覧の(1)自殺対策を支える人材の育成 8 教員研修の中に人権教育等の研修会が含まれるとご理解ください。
7		第4章 1基本施策 (1)自殺対策を支える人材の育成 計画書18頁	<p>具体的な人材育成の強化に関する記載があるが、その内容についての具体的な記述がない。様々な自殺ハイリスク層や支援方法について、人材育成講座の中で取り上げるよう記載してほしい。</p> <p>ゲートキーパーの研修の中にも、必ず性的マイノリティの自殺ハイリスクの背景や関わり方についての知識を盛り込むことが不可欠であり、行政窓口の職員や養護教諭、保健師に対する統一的で継続的な研修をしてほしい。</p>	<p>1 基本施策 (1) 自殺対策を支える人材の育成 1 頁 (1) の中に、「自殺や自殺対策関連事象に関する正しい知識の普及、本人の本音を聞き出すことが出来る信頼関係の構築方法などについて学び、人材育成の強化を図っていくという旨を記載いたします。</p> <p>ゲートキーパー養成講座では、性的マイノリティを含む様々な自殺ハイリスク層や支援方法についての知識の普及に努めてまいります。</p> <p>保健師と養護教諭が合同で、様々なケースに対する支援方法などを学ぶ研修を行っており、今後も継続して実施してまいります。</p>
8			<p>老老介護等、介護を苦にして自殺をしてしまうケースもある。</p> <p>介護、介助は家族だけではなく、社会サービスによって保障されるべきものであり、家族一人ひとりが自分らしく生きていくことを保障する権利でもある。</p> <p>自殺の計画ではあるが、介助サービスの考え方や、人が</p>	<p>高齢者等の自殺リスクに早期に気づき、必要な支援につなぐことはとても重要と考えています。本計画では、早期発見、早期支援ができるようネットワークの強化を推進し、見守り等の支援を基本施策に盛り込んでおります。</p> <p>介護サービスや社会サービス等については、福祉分野の</p>

様式2（計画用）

			<p>持っている、社会サービスを受ける権利の在り方を計画の中で明文化することで、人々の当たり前を少しずつ変えていく一歩になると思う。</p>	<p>個々の計画で検討され記載されておりますので、考え方等を踏まえ自殺対策を推進していきます。</p>
9			<p>本当に自分のことをわかろうとしてくれる人の存在が一人でもいることはとても大きいので、その役割に仕事として就く方には専門家として相談に来るのを待つのでなく、自分から踏み込んで人として向き合ってほしい。</p> <p>今、苦しんでいる人の声を聞くことから、仕組みを考え社会を変えていくことができるのではないかと考える。</p>	<p>相談機関や専門家はアウトリーチによる支援をし、本人への寄り添い支援を行います。また専門家だけでなく、自殺を考える方の周りの人が、その方の居場所づくりやよき理解者となり、その方のゲートキーパーとなれるような社会づくりが必要であると考えております。</p>
10			<p>学校でのいじめを原因とする自殺のニュースについて、悩みを聞いてあげることや「助けて」というサインに気づいていたらと考えます。</p> <p>立てただけの計画に終わらないよう、悩んでいる人が孤立しない地域づくりの推進をしていただきたい。</p>	<p>越前市の小中学校では「いじめ対策委員会」におきまして</p> <p>いじめの未然防止や早期発見、事案対処について協議しております。</p> <p>子ども若者のSOSの出し方に関する教育や取組みの推進、地域のネットワークを強化し、悩んでいる方を孤立させないような地域づくりを目指します。</p> <p>「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向けて計画を推進していきます。</p>
11			<p>この自殺対策計画の基本施策の一番はじめに、(1)自殺対策を支える人の育成、次に(2)地域におけるネットワ</p>	<p>自殺対策計画の5つの基本施策と、重点施策については、各関係機関と連携し、取組みを推進していきたいと考えて</p>

様式2（計画用）

			<p>ークの強化 とあり、 近所づきあいや人間関係が希薄にならないような、地域の 人と人のつながりが最も大切 だと考える。</p> <p>この計画の内容を越前市全 体に広げてほしい。</p>	<p>おります。まずは、市民の方 一人ひとりが自殺対策につい て関心を持っていただくこと が大切です。市民・関係機関・ 団体等が連携し「誰も自殺に 追い込まれることのない社会 の実現」に向けて計画を推進 していきます。</p>
--	--	--	---	---